

持続可能な
社会づくりを
考える

山形県最上地域

AMAZING
MOGAMI

誰かに自然したくなる。
賢者に導かれた最上地域を輝かせる提案。
amazingmogami

「探究型・SDGs」体験プログラム 教育旅行ガイド



やまがた森林(モリ)ノミクス関連



農林漁業体験



生活体験(農家民泊)



自然体験(自然観察、トレッキング等)



山形県最上地域



クラフト体験



歴史・文化



雪国体験



その他情報



未来を創造する子どもたちへ伝えたい

最上地域は、山形県内でも屈指の豪雪地帯で、稲作を中心とした農山村地域です。四方を鳥海山や月山、神室連峰などに囲まれ深い原生林が多く残り、エリアの中央を最上川が流れ、四季折々に表情を変える豊かな自然に恵まれたところです。

手入れされた里山の恵みと先人が拓いた見事な田畑によって、人々の暮らしが多くの生き物達と共生して営まれています。

林業

最上地域は、面積の約8割を森林が占めており、通常、杉の伐採は40年から50年のサイクルで行うことが一般的ですが、金山杉は樹齢80年生以上の長伐期施業を行い、厳しい自然環境の中で育つため年輪が緻密に揃い、木目が非常に細やかで美しく、住宅用構造材として高い評価を受けています。

豊富な森林資源を活用した循環型社会を目指し、造林、素材生産、製材・加工、住宅建築、消費者利用まで地域内で林業関連流通体制が全て整えられています。



contents

1. 最上地域の教育旅行プログラム	6
2. 体験コンテンツ紹介	12
(1) やまがた森林(もり)ノミクス関連	16
(2) 生活体験(農家民泊)	18
(3) 農林漁業体験	21
(4) 歴史・文化	23
(5) 雪国体験	25
(6) 自然体験(自然観察、トレッキング等)	27
(7) クラフト体験	29
(8) その他	30
3. 宿泊施設情報	31
4. 医療機関・救急・警察・保健所 案内	41
5. 団体昼食会場	42
6. 弁当積み込み事業者	43
7. お土産施設	43
8. アクセス	44



農業

最上地域は、稲作を中心とした農業が盛んな地域であり、米作りのほか、ニラやねぎなどの園芸作物の産地化も進み、若者の就農も増えてきています。

また、きのこの有数の産地で、特に「マッシュルーム」は年間約1,400t(全国シェア20%国内第3位)、「なめこ」は約2,800t(国内第2位)も栽培されており、そのほかにも「やまぶしたけ」など珍しいきのこを含め栽培種類が豊富です。

棚田の保全や貴重な動植物の保護など自然環境に配慮した農村地域づくりが進められています。

自然環境

最上地域は、国立公園や国定公園の高い山々に囲まれ、エリアの中央には母なる川最上川が流れています。夏は高温多湿で、冬は最上川の峡谷にそって日本海からの北西の季節風の影響で雪が多く、豪雪地帯として知られています。



歴史

紀行文「おくのほそ道」で知られる俳聖松尾芭蕉は最上地域にも訪れており、数々の句を詠んでおります。難所と言われた山刀伐峠や舟で下った最上川、芭蕉ゆかりの地を訪ね、その風景や詠んだ句について想いを馳せることができます。

また、国宝土偶「縄文の女神」が出土した西の前遺跡や鉄道の要衝として栄えた歴史、貴重な民族資料などが多く残されております。

学校では経験できない 農山村での 「生きる力」 の体験

最上地域では、生命の有限性や自然の大切さ、
挑戦や他者との協働の重要性を学ぶため、
実際に見て直接触れて、自ら行動する
体験型プログラムを提供いたします。



これからの教育旅行に求められるもの

教育現場において、「探求型学習」「SDGs」といったテーマが示されるようになりました。また、これまで以上に安心と安全が求められていることから、「探求型学習」「SDGs」「安心・安全」の3本の柱を中心に捉え、教育旅行における「マイクロツーリズム」も視野に入れたプログラムの提供が必要と考えます。

- 新学習指導要領に対応
- 主体的・対話的で深い学び
- 総合的な学習
- キャリア教育
- 課題解決能力
- 生徒の自主性と気づきの尊重
- カリキュラムマネジメントの確立
- ESD(Education for Sustainable Development)

探求型
学習

SDGs

安心
安全



- 社会への関心と参画
- 持続可能な社会づくり
- 将来の自己形成
- グローバル化への積極的対応
- 若い時代に本物に触れることの意義と目的



- 新型コロナウイルス感染症への対策
- 緊急時における危機管理対応能力
- めまぐるしい社会情勢への対応と手段



問題点を考え、答えを探す、『探求型教育旅行』

事前学習 問いを立てる

生徒一人一人が旅行を通じて何を学びたいか、そのためにはどのようなテーマを設定し、どんな計画を立てるか考え、クラスやグループ等で話し合い、そのテーマに向けて旅行に臨む。

現地学習 答えを導く

旅行中は、自ら立てた「問い」に対し、どのような発見や気づきがあるか。体験や見学、地元の人との交流を通じ、机上だけではわからない「五感」を使って体験をする。

事後学習 掘り下げる

旅行を振り返りどのような気づきや学びがあったか。自らが立てた「問い」に対し、答えを導き、さらにその先の問題点を考える。またそれをどうやって表現するのかを思考する。

つまり「旅行前～旅行中～旅行後」、一連のストーリーとして臨む、**気づきと学びのある教育旅行**

社会とのつながりを見つける、 『SDGs教育旅行』。

持続可能な社会の創り手となるべく、旅行を通じて自分たちが社会のために何ができるか、社会の一員としての役割を考え、社会とのつながりを見つけることが私たちが考える「SDGs 教育旅行」です。



※『探求するなら山形県 やまがた「探求型SDGs」教育旅行より引用



やまがた森林ノミクス

～森との共生から森林資源の活用～

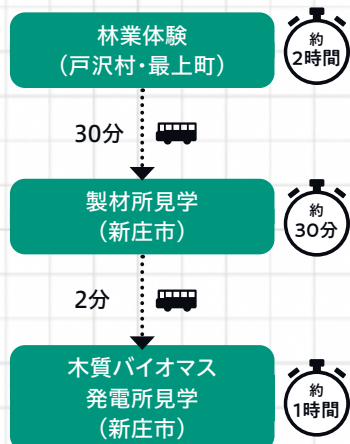


実施地域 真室川町 金山町 最上町 戸沢村 新庄市

実施時期 4月～10月
所要時間 2時間～1日
対象 小学生・中学生・高校生
人数 最大300人

山形県では豊かな森林資源を積極的に活用することで、木を植え、育て、使い、再び植える「緑の循環システム」を構築し地域活性化に結びつける「やまがた森林ノミクス」を推進しています。環境保全や再生可能エネルギー利用がSDGs（持続可能な開発目標）とどう関連するのか、現地において学習します。

モデルコース



林業体験 (戸沢村・最上町)

地元のインストラクターが指導し、植林や間伐等の林業体験を行います。

図特定非営利活動法人 田舎体験塾つのかの里
TEL.0233-73-8051

図特定非営利活動法人 山と川の学校
TEL.0233-44-2820

製材所見学 (新庄市)

木材を建築建材に製材、加工する現場を見学します。

図新庄商工会議所
TEL.0233-22-6855
http://www.sjcci.or.jp

木質バイオマス発電所見学 (新庄市)

間伐材や林地残材などを燃料とする木質バイオマス発電所を見学します。

図新庄商工会議所
TEL.0233-22-6855
http://www.sjcci.or.jp

学習ポイント

事前学習

- 山形県の森林ノミクスの取り組みなどを事前に調べ、各人が現地で何をテーマに旅行に臨むのか、学習テーマを設定する。

現地学習

- 森林ノミクス現地学習を通じ、山を中心にSDGsと自分とのつながりを感じ認識し自分の役割について考えることができる。
- 植林や間伐、若しくは加工した建材に実際に触れる事により何を思い何を感じ取ったか学習する。

事後学習

- 世界の気候変動や自分たちが住む地域の自然環境の変化、現地学習を通して、SDGsとのつながりや身近にできる事に気づき、考え、実行する判断力を養える。
- 一次産業体験を通じて里山地域の過疎化等、地域が抱える課題の解決策について考えることができる。



ルーラリング

～農家民宿・民泊と農業体験を通じ農山村の暮らしを学ぶ～



実施地域 鮭川村 戸沢村 真室川町

実施時期 通年
所要時間 1泊2日
対象 中学生・高校生
人数 最大100人
 (100名を超える場合は要相談)

三世代同居率が高い山形県の中でも特に最上地域はその割合が高く、家族のつながりや思いやり、大人数で食べる食事の楽しさ、里山の恵みをおいしくいただくなど、人との交流、家族の大切さ、里山の知恵などを学ぶことができます。



モデルコース



民泊体験

各家庭で家族とふれあうことで農山村の暮らしを体験することができ、コミュニケーション能力を養うことができます。

図特定非営利活動法人 田舎体験塾つのかの里
TEL.0233-73-8051
https://inaka-taiken.jp/

農作業体験

季節に合わせた農作業体験を通じて、食物を育てることの大変さと楽しさを学ぶことができ、食に対する関心や感謝の気持ちを養うことができます。

図特定非営利活動法人 田舎体験塾つのかの里
TEL.0233-73-8051
https://inaka-taiken.jp/

TAG

農業・生活をゲームで疑似体験し、雪国ならではの知恵と文化に触れることで、自分を取り組むSDGs目標を考えるきっかけになります。

図特定非営利活動法人 田舎体験塾つのかの里
TEL.0233-73-8051
https://inaka-taiken.jp/

学習ポイント

事前学習

- 最上地域の気候や風土、農業の特色等について調べる。
- 最上地域の在来野菜（最上伝統野菜）について学ぶ。

現地学習

- 農家での宿泊や農作業を通じ、農山村の暮らしを体験する。
- 農業・農村生活を学び、楽しみながらSDGsをジブンゴト化する。

事後学習

- 自分たちが住んでいる場所と最上地域の農業の比較。
- 過疎化や高齢化等地方が抱える問題について解決する方法を探る。

- 食への関心を深めることができ、食べ物にかかわる尊さを実感できる。
- 他人とのかかわり方や作法などを学ぶことができる。



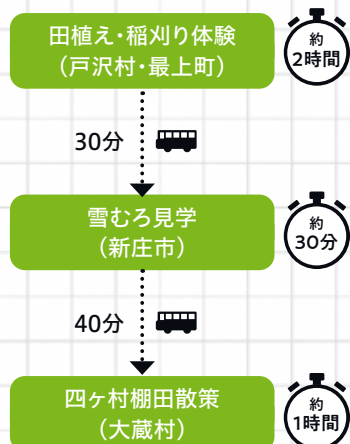


これからの農業と食を考える



農業体験や農家民泊により、農家の現状を体験し、日本の農業・食の問題を提起・考察していくプログラムです。

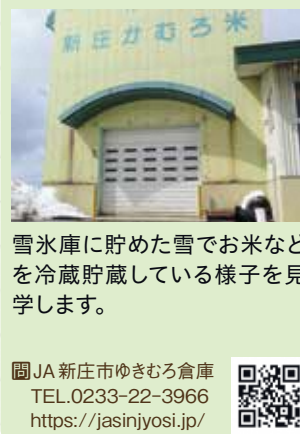
モデルコース



田植え・稲刈り体験



雪むろ見学 (新庄市)



四ヶ村棚田散策 (大蔵村)



学習ポイント

世界に誇れる日本の米の魅力を

探求することができる。

事前学習

- 最上地域の農業の特徴や気候・風土について調べる。
- 現地で何をテーマに臨むのかを設定する。(必要に応じて資料の提供や農家の出前授業にも対応)

現地学習

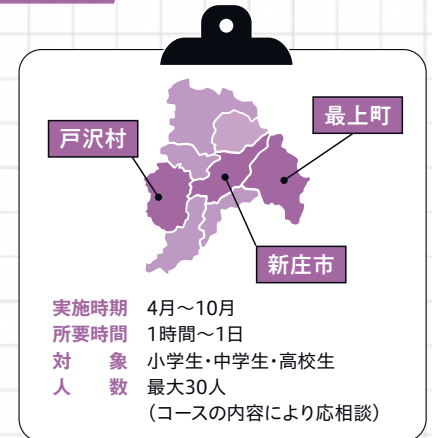
- 田植えや稲刈り体験で米作りや今後の農業のあり方を学ぶ。
- 農作業や農家民泊を通して生産者の思いや自分の役割について考えてもらう。

事後学習

- 食の大切さ・日本の米の魅力を振り返る。
- 農家が抱える問題の解決、米農家の未来、食料や環境問題について考察する。
- 収穫作物での交流を通して農業・食を身近に感じ興味をもってもらう。



俳聖松尾芭蕉「おくのほそ道」の足跡を辿る



俳聖松尾芭蕉が旅した「おくのほそ道」ゆかりの地を訪れ、その風景や詠んだ句について考えることができます。また、山寺(立石寺)・羽黒山なども合わせてコースを組み立てることができます。

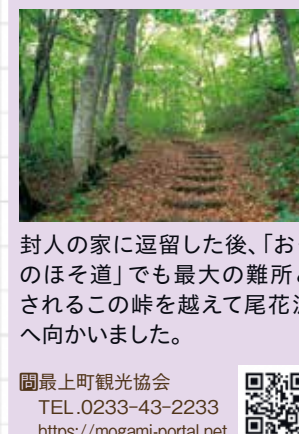
モデルコース



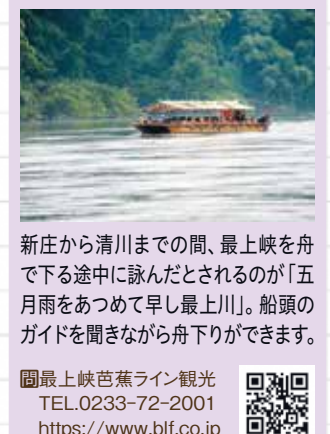
封人の家 (国指定重要文化財・最上町)



山刀伐峠 (最上町)



最上川舟下り (戸沢村)



学習ポイント

おくのほそ道ゆかりの地を訪れることで、芭蕉が詠んだ俳句の意味と背景を知る。

事前学習

- 俳句の概要や歴史、特徴、技法、著名な俳人について調べるとともに、山形県で詠んだ句の意味や情景を知る。
- 松尾芭蕉について学ぶ。

現地学習

- 芭蕉に思いを馳せ、それぞれの地で俳句を詠み、親しむ。
- 芭蕉が俳句を詠んだ場所、ゆかりの地を訪れ、改めてその句の意味と背景を知る。

事後学習

- 詠んだ句を発表し合い、意図を推理し感想を述べ合うことで表現力を養う。
- 旅行を通じ自分なりの「おくのほそ道」(紀行文)を作成する。



鉄道のまちの歴史と文化に触れる

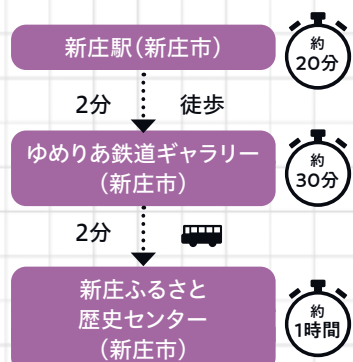


新庄市

実施時期 通年
所要時間 1～2時間程度
対象 小学生・中学生・高校生
人数 最大40人
(40名を超える場合は要相談)

新庄駅は、奥羽本線と陸羽東線、陸羽西線が交わる鉄道交通の要衝として栄えた歴史があります。貴重な鉄道模型やジオラマの展示など鉄道に関する様々な展示を見ることができます。

モデルコース



ゆめりあ鉄道ギャラリー



蒸気機関車の模型や鉄道模型ジオラマ、国鉄時代の列車や各地方の新幹線車両などの模型をはじめ貴重な資料が展示されています。

最上広域交流センターゆめりあ
TEL.0233-28-8888
<https://yumearea.com/>

新庄駅



明治36年開業と同時に竣工された「赤レンガ機関庫」と「転車台」など貴重な鉄道遺産が現存しています。

最上観光協会
TEL.0233-22-2340

新庄ふるさと歴史センター



270年の歴史をもつ新庄まつりの山車2台を展示するほか、新庄の歴史・民俗・観光・芸術文化を物語る史料や作品を多数展示しています。

最上ふるさと歴史センター
TEL.0233-22-2188

学習ポイント

鉄道輸送の変遷を学び、交通のあり方について考える。

事前学習

- 鉄道の歴史の変遷と高速交通網の整備について調べる。

現地学習

- 昭和時代の鉄道模型から当時の産業や人々の暮らしを学ぶ。
- 山形県の近代化産業遺産群について学ぶ。

事後学習

- 鉄道の役割や環境に負荷の少ない輸送、過疎化が進む地域での廃線による住民の足の確保の問題などを考察する。

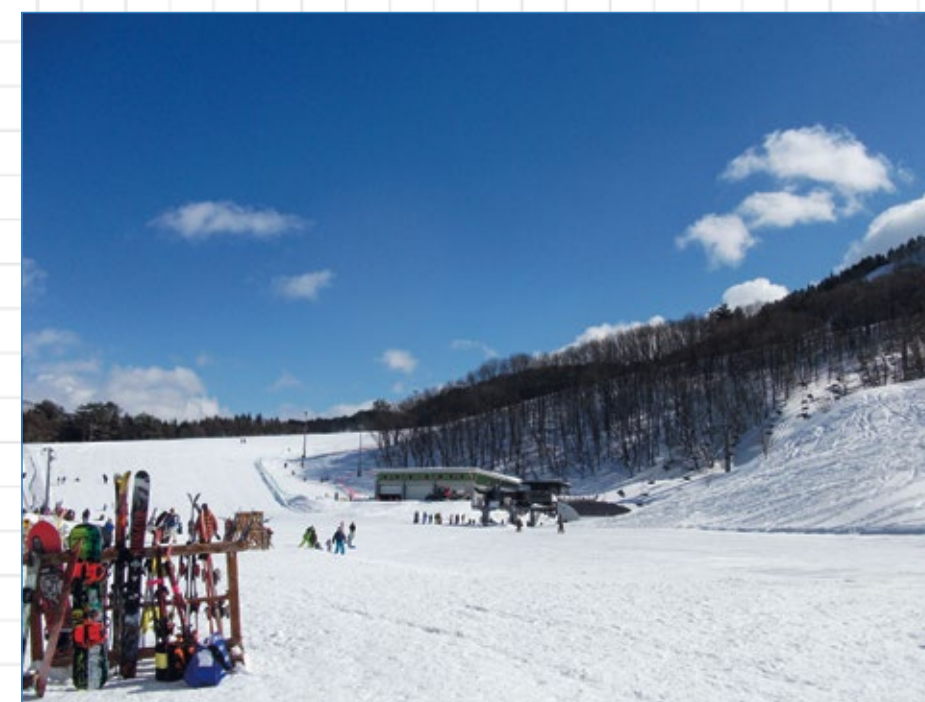


スキーレッスンと共に、雪のメカニズムと環境問題について考える



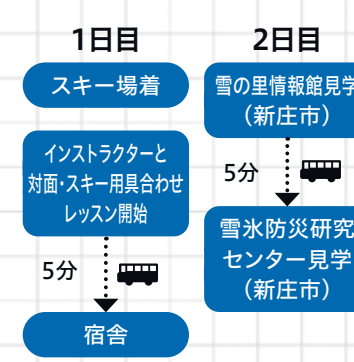
新庄市

実施時期 12月～2月
所要時間 1泊2日
対象 小学生・中学生・高校生
人数 最大40人
(40名を超える場合は要相談)



スキーレッスンに加えて、防災科研(NIED)の雪氷防災研究センターで雪のメカニズムや雪氷災害の危険把握など、最新の研究から環境問題を考えます。

モデルコース



レベルにあったスキーレッスン



現地インストラクターの指導により、用具合わせからレッスンまで、各自のレベルに合わせ丁寧にレクチャーします。

最上温泉スキー場
TEL.0233-45-2901
最上グリーンバレー神室スキー場
TEL.0233-52-2240

雪の里情報館(新庄市)



雪害救済運動によって昭和8年に設置された旧農林省積雪地方農村経済調査所庁舎の一部を保存・復元した建物で、雪国・農村経済に関する資料を収蔵しています。

雪の里情報館
TEL.0233-22-7891
<http://yukinosato.jp/>

雪氷防災研究センター(新庄市)



災害に結びつく降積雪粒子のミクロな構造の研究や雪崩、吹雪、着氷などのリアルタイム予測に関する研究を行っています。

最上雪氷防災研究センター
新庄雪氷環境実験所
TEL.0233-22-7550
<https://www.bosai.go.jp/seppyu/>

学習ポイント

雪に触れあうことで身近な環境問題について考えることができる。

事前学習

- 雪の降るメカニズムや、近年の豪雪が自分たちの生活にどのように影響が出ているのか調べる。
- 冬季スポーツの楽しみ、スキー技術や用具の扱い方について知る。

現地学習

- 現地のインストラクターより、各自のレベルに合ったレッスンを受ける。
- 雪とふれあうことにより、生活環境の多様性を学ぶ。

事後学習

- 身近にある環境問題(地球温暖化・環境保全・異常気象による自然災害)を考えるきっかけとなり、自分は何ができるかを考え、発表する。

